濁水かわら版

第 83 号　2019 年 5 月 6 日

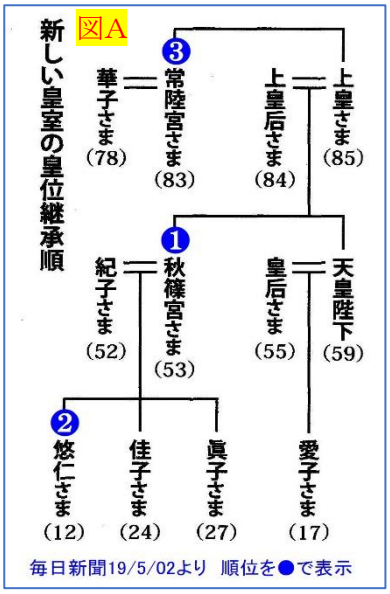
ボケ防止を兼ねて　中安 宏規

天皇定年制＆女性天皇の道!!

急がれる継承議論

保守派は「女系」反対

男系での維持 不安定



テレビを見ていた中学生の孫が言った。「まるで大晦日から元旦みたいな騒ぎ」。画面が次々流れ、印象が残らずに消え去る。新聞も高揚していたが活字は残る。見出しを拾ってみると、皇位継承者が3名で増員の議論が急がれるという。天皇の定年制や女性天皇制度を零話にせず実現すべきだ。

73 年前の 1946 年を振り返る

❶ 図Aは、毎日新聞の「新しい皇位継承順位」を借用。青●継承順位は見やすくするため加工した。

❷ 図Bは、敗戦の翌 1946 年の主要事項を年表形式でピックアップした(2頁へ続く)。元旦に昭和天皇が神格化を否定する人間宣言をし、GHQ（マッカーサー元帥率いる連合国総指令部：General Headquarters）の日本改革が急激に進んだ。戦後初の第 22 回総選挙では、女性参政権が実現し 39 人の女性議員が誕生した。次いで明治憲法下の第 90 臨時議会で憲法改正案が修正のうえ通過する。11/03 日、新憲法公布。それを受けた第 91 臨時議会で憲法付属法の皇室典範法案が原案通り可決し、翌 47 年 5 月 3 日、新憲法と共に施行（しこう）された。だが、皇位継承を含め皇室典範の議事録は無理スジで終始していた。

❸ 明治皇室典範は議会が関与出来ない特別法であった。新たな法案の担当大臣は金森徳次郎（1886-1959 年）国務相。金森は東大卒。大蔵省から法制局に転じ、34 年 7 月成立の岡田啓介内閣の法制局長官就任→天皇機関説問題で辞任し

月日	図B　1946 年の主要事項
1/01	昭和天皇、神格化を否定し人間宣言
1/04	GHQ、軍国主義者らの公職追放と超国家主義団体 27 の解散を命令
1/29	マ元帥、天皇の戦犯証拠なしを参謀本部へ回答
2/01	毎日新聞、政府憲法問題調査会試案をスクープ
2/03	マ元帥、GHQ民生局に①天皇は元首 ②戦争放棄 ③封建制撤廃の 3 原則の憲法草案作成を指示→2/10、GHQ案完成
2/08	政府、憲法改正要綱（松本試案）をGHQへ提出
2/13	GHQ、松本試案を拒否、GHQ草案を政府へ
2/21	幣原首相、マ元帥と会談。マ元帥の考えは「象徴天皇と戦争放棄」と、翌 22 日の閣議で説明
2/22	政府、閣議でGHQ案受け入れを決定
3/06	4 日夕から法制局とGHQが徹夜で草案を作成→5 日天皇に奏上、6 日政府草案発表（主権在民・象徴天皇・戦争放棄）
3/07	憲法草案を各紙掲載。マ元帥「全面支持」声明
3/20	極東委員会（日本と戦った 11 か国で構成）、日本憲法制定へ日本の世論尊重を決める

4/10　第 22 回総選挙の結果　（定数 466）

党派	立候補	当選	女性	得票数	得票率%
自由	485	140	4	13,505,746	24.4
進歩	368	94	6	10,350,530	18.7
社会	331	93	8	9,858,408	17.8
協同	91	14	0	1,799,764	3.2
共産	143	5	1	2,135,757	3.9
諸派	1352	38	11	6,473,272	11.7
無所属		80	9	11,325,402	20.4
欠員		2			
計	2770	466	39	55,448,879	

注）大選挙区連記制で実施。定数 4-10 人区は 2 名連記、11-14 人区は 3 名連記。2、3 番目に女性を選ぶ傾向が見られたという女性立候補 79 人で当選率 49%。欠員 2 は法定得票数未満

「天皇１人の考えでの退位は国民の信念と調和しない」

前頁から）貴族院の欠員補充があり、元法制局長官の資格で貴族院議員に就任→3/26 日、内閣嘱託→憲法改正第 90 臨時議会開院前日の 6/19 日、吉田首相が憲法・典範担当相に任命した。

天皇は嫡男系男子に限る

❹ 図Dは、46/12/05 日の第 91 臨時議会に提出された皇室典範案の第 1 章「皇位継承」及び、重要事項を決める第 5 章「皇室会議」の冒頭部分の内容である。本会議の議事録からコピーした。吉田首相は提案理由を次のように述べている。

「臨時法制調査会の答申を基に立案し、現典範の皇室経済は皇室経済法、訴訟は一般訴訟法規に任せたほかは、概ね現行の皇室典範を踏襲した。皇位継承の資格は①嫡男系、嫡出に限る原則を採用。②皇室会議を設け皇嗣の変更、摂政の設置などの重要事項を協議する。構成メンバーは、皇族 2 人・衆参両院の議長と副議長 4 人・総理大臣・宮内庁長官・最高裁長官と判事 2 人の計 10 人」

天皇退位の考えは文学的だ

本会議質疑では各党とも、明治典範の域を出ず、新憲法の自由意思尊重や男女平等の原則を無視した点を追及した。まず生前退位に絞ると。

❺ 社会党の及川規は「124 代天皇のうち、35 代の皇極天皇まで譲位はなかった。だが同天皇から大正天皇まで第 89 代の天皇のうち 57 人（64%）、45 代聖武天皇から大正天皇まで 53 人（67%）が譲位し、崩御後の即位はむしろ例外だった」と述べた。さらに過去の生前退位には、院政等の弊害があったが（現在では）「絶対的自由意思に基づく退位規定を設け、人間天皇の具現」を迫った。

❻ 金森の答弁は「国民は万世一系のある時期を満たす天皇に絶対の心のつながりを持っている。従って天皇 1 人の考えで位を動くことは国民の信念と調和しないのではないか、に重点を置いた。人間天皇の譲位の途が無しとしないが、過去の（院政などの）弊害が豪末（毛筋のさき＝わずか）もないとしても天皇に私なし、総てが公事に重点を置き、退位規定は典範では予期しなかった」。

❼ 社会党の松本七郎も、委員会質疑で生前退位を取り上げた。金森は「天皇は国民が信頼する象徴であり、国民は退位出来ないと強い考えを持つ。反対の考えは文学的な考えだ」と。松本は「理屈不都合であり、余りに国民感情を振り回すのは、ひいきの引き倒しになる。国会の議決を経て退位の途を講じておくのが当然だ」と強く反論した。

月日	図B続き　　1946・47 年主要事項
5/01	11 年ぶり第 17 回メーデー　皇居前に 50 万人
5/03	極東軍事裁判始まる
5/19	食糧メーデー25 万人→吉田内閣の組閣危機
5/20	マ元帥、大衆の「暴民デモ許さず」の助け舟声明
5/22	吉田茂内閣成立
6/25	憲法改正案、第 90 議会に提出→8/24 修正可決
11/03	日本国憲法公布
11/25	第 91 臨時議会開会。12/5 から皇室典範を審議 12/14 日に賛成多数で原案通り可決成立。
12/28	第 92 通常議会開会→47/3/31 解散
47/4/20	第 1 回参院選　社会 47 自由 39 民主 29…
4/25	第 23 回総選挙　社会 143 自由 131 民主 124…
5/03	日本国憲法、皇室典範など施行
5/20	吉田内閣総辞職→6/1 片山（社会）連立内閣成立

出典：官報・各種年表・新聞記事・国会図書館資料など

図C　第90議会　会派と議員数（46/6/20 憲法議会開院日）

自由党 146 人	戦前の旧立憲政友会鳩山派が中心。鳩山総裁が 5 月 7 日に公職追放になり吉田茂総裁→吉田内閣で新憲法・新皇室典範制定を担う。1955 年の保守合同をへて現自民党の源流
進歩党 97	戦前の旧立憲政友会の翼賛議員が大半を占めた保守派。45 年 9 月に大日本政治会を解散→同 11 月に進歩党を結成。幣原内閣与党で戦後初の総選挙で敗れ内閣総辞。47 年 3 月に日本民主党→改進党を経て保守合同で自民党へ合流
社会党 96	戦前の無産政党が 45 年9月 22 日、社会主義運動の3長老（安部磯雄・高野岩三郎・賀川豊彦）の呼び第かけで集まり、同 11 月 2 日に結成す
協同民主党 42	戦前の農村を含む産別協同運動が結集 45 年 12 月に協同党を結成。46 年 5 月に協同民主党、47 年に国民党と合流→改進党をへて自民党へ
共産党 5	1935 年に壊滅され 1945 年 10 月再建。現在へ

他に●民主党準備会 21 ●無所属倶楽部 30 ●新光倶楽部 29 ●無所属 2 ●欠員 1（議員数は国会図書館資料より）

図D

皇室典範案

第一章　皇位継承

第一條　皇位は、皇統に属する男系の男子が、これを継承する。

第二條　皇位は、左の順序により、皇族に、これを傳える。

一　皇長子
二　皇長孫
三　その他の皇長子の子孫
四　皇次子及びその子孫
五　その他の皇子孫
六　皇兄弟及びその子孫
七　皇伯叔父及びその子孫

前項各号の皇族がないときは、皇位は、それ以上で、最近親の系統の皇族に、これを傳える。

前二項の場合においては、長系を先にし、同等内では、長を先にする。

第五章　皇室会議

第二十八條　皇室会議は、議員十人でこれを組織する。

議員は、皇族二人、衆議院及び参議院の議長及び副議長、内閣総理大臣、宮内府の長並びに最高裁判所の長たる裁判官及びその他の裁判官一人を以て、これに充てる。

議員となる皇族及び最高裁判所の長たる裁判官以外の裁判官は、各〻成年に達した皇族又は最高裁判所の長たる裁判官以外の裁判官の互選による。

第二十九條　内閣総理大臣たる議員は、皇室会議の議長となる。

第三十條　皇室会議に、予備議員十人を置く。

皇族及び最高裁判所の裁判官たる議員の予備議員については、第

女帝は本格的な筋合いでない✕女性天皇は日本文化の源流

❽ 各党とも人間平等の新憲法の下で女性天皇を認めない点を追及した。これに金森は答えた。「女帝は過去 10 代 8 人。学問上の研究を聞くと、大体本格的な筋合いではない一時の便宜に応ずるものと言われる。両性の平等の見地もあるが、女帝を認めると継承が行き詰まる懸念が直感的に、理屈でなく出てくる余地がある…」と。かつて法制局長官を努め、吉田首相に登用された官僚出身の大臣の言葉である。一方吉田は、英米派の外交官と伝わるが、憲法改正に消極的で、素顔は皇室絶対主義者と言われ、明治典範を踏襲したのであろう。

明治典範が武家封建制導入

❾ 女性天皇を認めない吉田・金森ラインに国民党の井上赳(たけし)が一撃を与えた。「推古(すいこ)天皇をはじめ女性天皇は男子に伍(ご)していた。武家封建時代に女子を男子の下に置く隷属(れいぞく)社会が女子を家庭に追い込んだのだ。江戸時代にも女子天皇が 2 人即位しており明治典範が逆に武家封建制度を導入したのだ」。

井上は続けた。「推古天皇は聖徳太子をして文化国家の基礎を築いた。皇極(こうぎょく)天皇は大化の新政に関与、持統(じとう)天皇は暦文化の功績がある。元明(げんめい)天皇は奈良遷都と古事記の編纂(へんさん)、元正(げんしょう)天皇は養老律令を編纂させ日本書紀の完成を見る。女子天皇と日本文化の源流は切っても切れない。文化国家の象徴、戦争放棄の平和国家の象徴として国際間にも好感を持たれると確信する」。

❿ 金森は言葉に詰まった。「典範案の提出段階で原案より適当な点が見出だせなかった」。前記松本質問には、「男子尽きて初めて女帝に及ぶことは今日の段階で予想出来ない…」。翌 47 年の「5/03 日までに法完備の立場から将来の問題に残し制度を作り、従うべき時は従う」と述べている。

⓫井上は東大卒。1922 年から文部省で教科書編纂に携わり 44 年春に辞表を出し文部省を去った。第 22 回総選挙で島根全県区3位当選。委員会では井上の国民党だけが典範案に反対した。社会党は将来の改正を条件に賛成。他は翼賛議員などが多かった。

図E　飛鳥・奈良時代の女性天皇の時代　（年表・人名辞典・歴史書より作成）

代		天皇	即位年	退位年	享年	系図（両親・皇后・兄弟）	譲位	歴史上の主な記事
		神功皇后（15）扶桑略記の代数						記紀の伝承上の皇后
		飯豊青尊（24）扶桑略記の代数						皇位空白をさけての即位か？
29		欽明	539	571		継体の皇子		538 年 百済から仏教公伝（552 年とも）
32		崇峻	587	592		欽明の皇子		蘇我馬子が擁立、馬子に殺害される
33	飛鳥時代	推古	592	628	75	欽明の皇女・敏達の皇后		崇峻殺害で群臣の要請で即位・仏教の興隆・遣隋使派遣・17 条憲法制定・法隆寺創建・悲田院や施薬院の設置
		593　聖徳太子摂政になる						
34		舒明	629	641	49	敏達の皇子・皇后は皇極		推古の遺言で即位・遣唐使派遣
35		皇極	642	645		舒明の皇后	↓	蘇我入鹿殺害→初の譲位→大化改新
36		孝徳	645	654	61	皇極の異母弟		大化改新・年号制定
		中大兄皇子（38 代天智天皇）が皇太子になる						
37		斉明	655	661	68	皇極の重祚(ちょうそ:2 度目)		白村江で唐水軍に敗北　近江大津に遷都
		斉明天皇崩御で中大兄皇子が称制＝臨時代行になる						
38		天智	668	671	58	舒明と皇極の皇子		近江令の制定
39		弘文	671	572	25	天智の皇子		壬申の乱で落命
40		天武	673	686	?	舒明 皇極の皇子皇后持統		大海人皇子：有力皇位継承者の大友皇子（弘文天皇）を破り飛鳥浄御原令の施行
		天武天皇崩御で皇后（持統）が称制になる						
41		持統	690	697	58	天智の皇女 天武の皇后	↓	藤原京へ遷都
42		文武	697	707	25	天武の孫　母元明		大宝律令の完成
43	奈良時代	元明	707	715	61	天智の皇女	↓	和銅開珎.の鋳造・710 年平城京へ遷都・古事記・風土記撰上
44		元正	715	724	69	文武の姉　元明の皇女	↓	養老律令の制定・720 年日本書紀撰上
45		聖が	724	749	56	文武の皇子 男子初譲位	↓	多賀城を設置・741 年国分寺建立・742 年東大寺大仏建立の詔→天平文化
		皇后は光明子（皇族以外の臣下出身の初の皇后）						悲田院等設け貧者救済し国分寺の建立を天皇に勧め、正倉院御物を寄進。
46		孝謙	749	758		聖武の皇女	↓	女性初の皇太子・752 年東大寺大仏開眼・淳仁天皇と不和→淡路へ配流
47		淳仁	758	764	33	天武の孫		淡路で死去
48		称徳	764	770	53	孝謙の重祚		道鏡を寵愛→和気清麻呂を配流
49		光仁	770	781	74	天智の孫	↓	道鏡を下野へ左遷、清麻呂を呼び戻す

★私見：井上は第 23 回衆院選に「政治家に向かない」と引退したという。金森は初代国会図書館長に就任。

現在の世論調査では 7-8 割が生前退位と女性天皇支持だが、復古調が根を張っており実現は遠いだろう。